

類では、一株から一本より多く花莖が出ることは、あり得べきことは無い。尤もユキワリサウの如きは、一株から二三本位出る様に見える事もないではないが、あれは前年の一株が枝を打つて、今年は二株にも三株にもなつたものが、コチャ／＼と固まつて居る故で、土を洗ひ落せば別々の株になるものだ。」八九一トアツテ私ニモちよつと來いヲヤラレテ居ル、サウナルト嫌デモ應デモ一度ハ呼び出シニ應ゼネバナルマイガ何カ一ツ反證デモ舉ゲン限り無事ニ閻魔ノ廳カラ身柄ヲ下ダテ貰フコトガ出來ン、コレハほんまニ困ツタモンダナト思案投ゲ首ノ末辛フジテ思ヒ出シタノガ此處(前頁)ニ掲グル圖ナノデアル此レハ雷名天下ニ隠レナキ羽柴筑前ノ守久吉ヒサヨシ様ト同名デ同ジク久吉武田ノ君トナン呼ビ參ラセル御方ノ堂々ト世界ニ發表セラレタ日本ノ櫻草ノ論文即チ Notes on the Japanese Primulas 殊ニこちと等ノヤウナ木ッ端武者ト違ツテ博士様ノお拵ヘニナツタ巨篇大作ノ中ニ在ルモノダカラゆめ間違ハナイモノデアルト鬼ノ首デモ取ツタ氣持チ兎ニ角閻魔ノ前デ鬼ノ首ヲ取ツタトハ前代未聞ノ珍事コリヤ幸先キヨシト此ニ此ンナ「極めて珍らしい」ノモ偶ニハアルト此反證ヲ掲ゲマシタガコレデ放免ニナレバ命拾ヒ、一時放免サレテモ更ニ控訴セラレントモ限ルマイガ、エーまゝヨ再ビソンナ場合ニ出ツ食ハシタラ百年目其時キヤ又ソレ相當ノ知慧ガ出テ何ントカナルダラウカラサウ悲觀シタモンデヤーナイワネートかしこみかしこみ申さく

○ほていちくノ干筍ヲ造ル方法

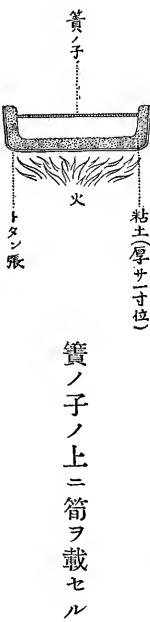
熊本縣立人吉高等女學校

前原勘次郎

〔牧野云フ、肥後人吉町ニハ商店デ食料品トシテ干シタ筍ヲ賣ツテ居ルガ餘リ他地方ニハナイコトデ頗ル珍ラシイト思フ、人吉町カラ數里ノ奥ノ村々ニハほていちく耶チニさんちくガ澤山野生シ自然其筍ガ多産スルノテ遂ニ此干筍ヲ製スル勢ヲ招致シタモノデアラウト思フ〕

第一法 コレハ賣出用ノ正式ノ仕方トモイフベキモノデ私ノ親友デアル球磨郡岩野校長冢城谷生君ニ頼ンデ調

查シテ貴ツタモノデアル、此ニ同君ノ原文ノ殆ンド其儘ヲ書クコトニスル
(手デツカソニ見テジワジワスル位ノ程度マデ) (3)ソレヲ左圖ノヤウニカマニ入レテガラガラニナルマデ乾燥
サセル



竈ノ子ノ上ニ筒ヲ載セル

第二法 ヨレハ自家用ノ略式ノ仕方トモイフベキモノデ各所デ行ハレテキル私モ前ニ経験シタコトガアル (1)

皮ヲムク (2)ソレヲザットユデアゲル (3)縦ニ割ツテ日干ニスル

(備考) ほていいくハ山野ニ野生シテキテ方言ヲこさんだけトイツテキル、生筒ヲ煮テ食フ小味ガアツテ他ノ
筒ヨリウマイ、幹ハ釣竿其ノ他ノ雜用ニ供スル、數年前ニ何處ノモ花ガ咲イテ枯レソノ當座ハ殆ンド筒ヲ見ル
コトガ出來ナカツタガ近年漸々ト復活シ來リツ、アル、家城君ノ調査ニ依ルト目下干筒ノ製產量ハ漸々舊時ノ
六割ニ達シ茲四五年モセネバ舊時通リノ回復ハ出來マイトノコトデアル

○斷枝片葉 (其二十一)

牧野富太郎

● *ヒサツミハキトヒラガミヅキ* 普通ニ諸處ノ庭園ニ見ルトハナツル (*Corylopsis spicata* SIEB. ET ZUCC.) ハ
實際唯四國ノ土佐ノミニ野生シテ居ルカラ土佐みづかノ名ハ真ニフサワシイモノデアル即チ同國高知市ノ北邊
山地並ニ同國高岡郡能津村錦山(彼ノどうだんつ、じノ自生地)邊ハ其產地デアル落葉灌木デ其葉ハ頗ルはし